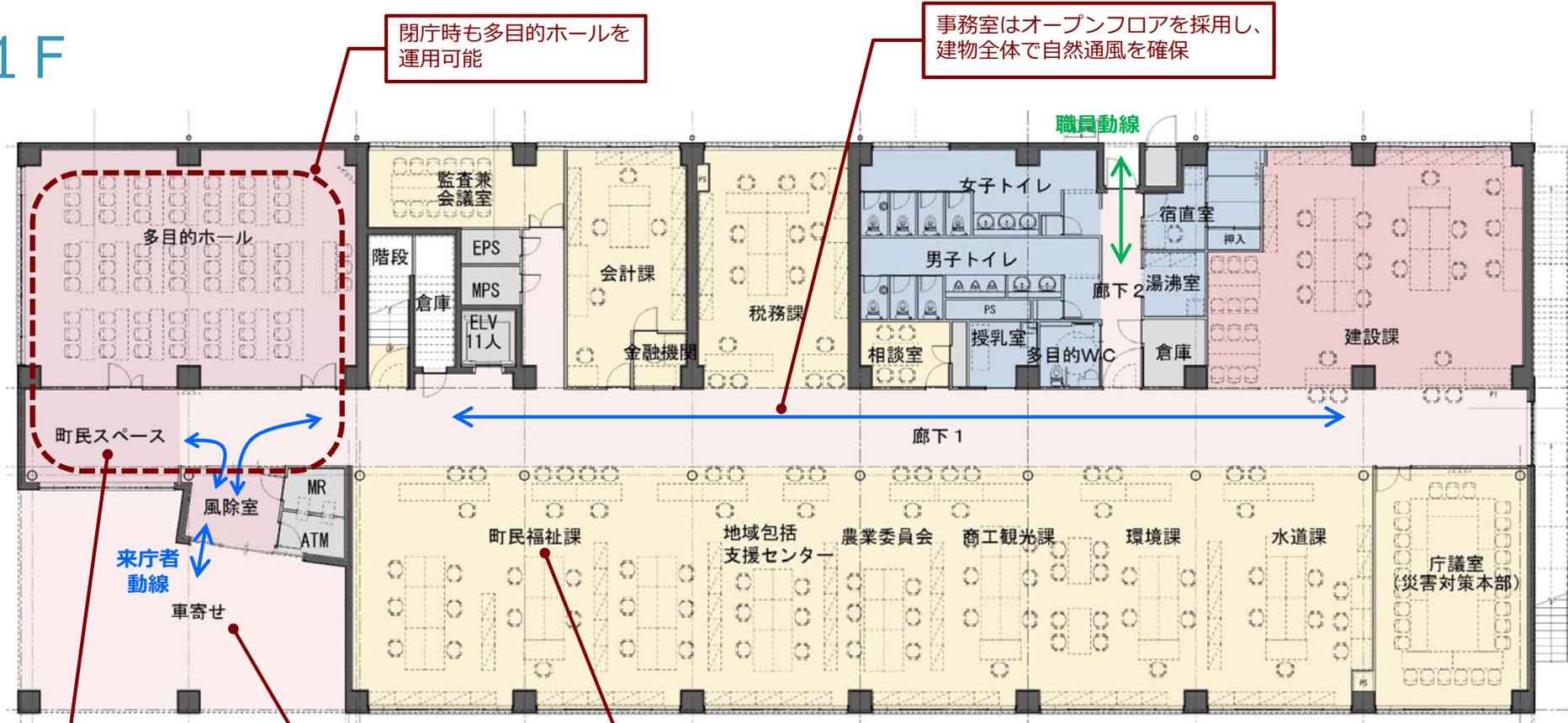


1F



閉庁時も多目的ホールを運用可能

事務室はオープンフロアを採用し、建物全体で自然通風を確保

ガラス張りで開放的な町民スペース

強風雨時にも濡れずに乗降可能な車寄せ

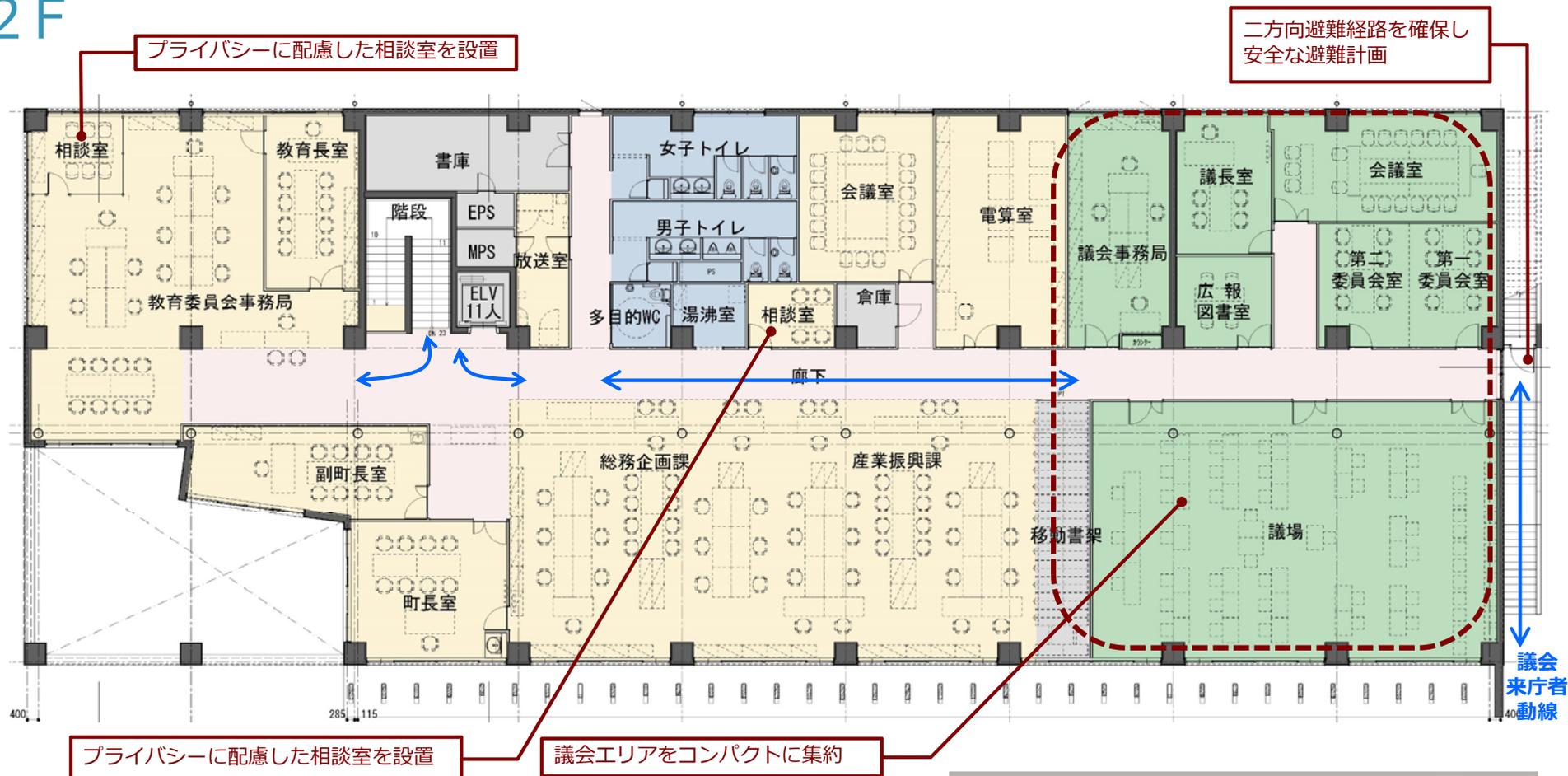
町民の利用頻度が高い課を入口近くに配置

| 凡例 | |
|--|---|
| 事務室エリア | トイレ・給湯室等 |
| 共用部エリア | 倉庫・PSシャフト等 |
| 共用部エリア (廊下) | 来庁者動線 |
| 議会エリア | 職員動線 |



執務室イメージ

2F



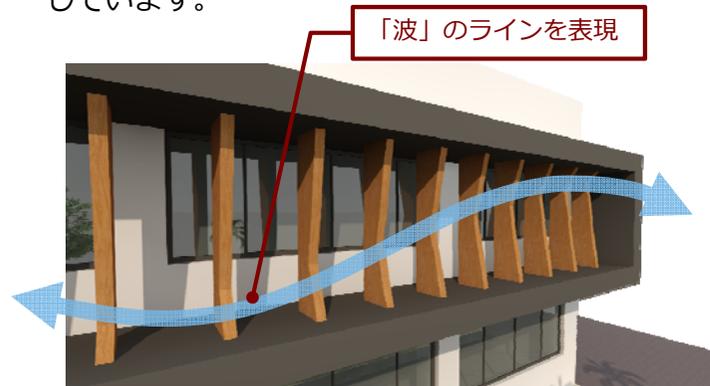
| 凡例 | |
|--|---|
| 事務室エリア | トイレ・給湯室等 |
| 共用部エリア | 倉庫・PSシャフト等 |
| 共用部エリア (廊下) | 来庁者動線 |
| 議会エリア | 職員動線 |



議場イメージ

■庁舎デザインについて

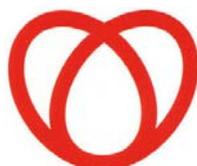
与論島の海をイメージした水平に伸びやかな建物形状とし、さわやかな白色系統の色彩計画とします。強い日差しを抑制するための、水平庇・木目調ルーバーをアクセントとし、木目調ルーバーは数種類の形状を組み合わせることで、「波」のラインを表現しています。



①町民が利用しやすい庁舎

新庁舎は全ての人に親しまれる庁舎とするために、障がい者や高齢者の方々に配慮した設備を導入します。

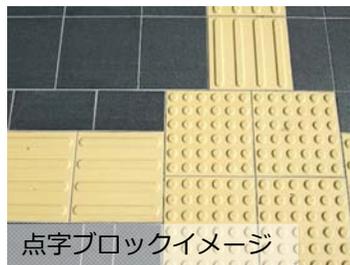
※バリアフリー法の建築物移動等円滑化誘導基準を満たす特定建築物として整備します。



バリアフリー法
認定マーク



多目的トイレイメージ



点字ブロックイメージ

②効率的な行政運営が可能な庁舎

新庁舎はLED照明や高効率の空調換気設備を導入することで、庁舎の省エネ・省資源化を図ります。また建物の断熱性向上や庇による直接日射制御により熱負荷の低減を図ることで、空調にかかる電気料金を低減します。屋外設置の設備機器は防風壁などを設け、潮風の影響を最小に抑え、長寿命化を図ります。

| LED照明のメリット | | |
|----------------------------|--------------------------|--|
| 省エネ 電力消費が下がります。 | 長寿命 ランプが切れにくい。 | 低発熱量 熱が少ないのでエアコンが効きやすい。 |
| 紫外線フリー 虫が寄り付かない。 | 瞬時点灯 すぐ点灯します。 | 環境改善 CO ₂ を削減します。 |

③防災拠点としての庁舎

新庁舎は非常用発電機による約7.2時間のバックアップ電源の確保など、災害時の防災拠点として機能するための設備を設けます。※庁舎1階の庁議室は災害時に災害対策本部として機能します。



非常用発電機イメージ